

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経疾患の病態と治療		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	403
担 当 教 員	糸賀亜美	実務経験と その関連資格	言語聴覚士の免許取得者			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士として必要な医療の、特に医療機器の歴史的変遷から、臨床工学技士の責務と展望など幅広い知識を身につけることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験にて評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学書院						
《授業外における学習方法》						
講義資料のまとめ						
《履修に当たっての留意点》						
講義範囲が広いため家庭での学習が重要となる。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	脳血管障害とその病態について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学 書院 配布プリント	講義資料のまとめ	
		各コマに おける 授業予定	脳血管障害(脳梗塞、アテローム血栓症脳梗塞、心原性脳塞栓症、ラクナ梗塞、一過性脳虚血発作など)			
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	認知症について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学 書院 配布プリント	講義資料のまとめ	
		各コマに おける 授業予定	認知症(アルツハイマー病、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症 など)			
第 3 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	感染症の病態について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学 書院 配布プリント	講義資料のまとめ	
		各コマに おける 授業予定	感染症(脳炎・髄膜炎、脳膿瘍、プリオン感染症、クロイツフェルト・ヤコブ病 など)			
第 4 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	脳・脊髄・神経の構造について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学 書院 配布プリント	講義資料のまとめ	
		各コマに おける 授業予定	中枢神経・末梢神経・脳脊髄の形態と機能			
第 5 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	脳腫瘍・手術ナビゲーションについて理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学 書院 配布プリント	講義資料のまとめ	
		各コマに おける 授業予定	脳腫瘍・手術ナビゲーションについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学書院 配布プリント	講義資料のまとめ
		各コマにおける授業予定	脳血管障害について		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	検査診断と治療、処置について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学書院 配布プリント	講義資料のまとめ
		各コマにおける授業予定	検査診断と治療、処置について		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」 医学書院 配布プリント	講義資料のまとめ
		各コマにおける授業予定	頭部外傷について		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			